

会議議事録

会議名	2022年度第1回医療事務分野教育課程編成委員会
対象学科	医療秘書科・医療事務IT科・診療情報管理科・診療情報管理専攻科
開催日時	2022年7月14日(木) 14:00~16:00
場 所	本校4階 404教室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：須貝和則(国立国際医療研究センター医事管理課長)、梅里良正(独立行政法人労働者健康安全機構顧問)、直井智之(東大和病院事務部長)、山室 靖(東京衛生アドベンチスト病院医事課課長)、町田洋治(東京都済生会中央病院事務次長代理) (計5名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、村山由美(医療秘書科学科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長)、川畑亮子(医療事務IT科・診療情報管理科・診療情報管理専攻科学科長)、河村和恵(医療事務教科連絡会リーダー)、榊原幸之(事務局長)、(計6名)</p> <p>③ 事務局：土屋瑠美子</p> <p style="text-align: right;">(合計12名)</p>
欠席者	江崎侑子(診療情報管理専攻科教員)
配付資料	<p>①事前送付：資料1：2021年度第2回医療事務分野教育課程編成委員会議事録案、 □資料2-1：2021年度重点目標と達成するための計画・方法(年度末点検) 資料2-2：2021年度第2回委員会以降の主な経過報告、 資料2-3:2021年度就職状況報告、 □資料3：2022年度重点目標と達成するための計画・方法、□資料4：2022年度教員研修計画・実績、□資料5：2022年度学科運営計画、 資料6：2023年度カリキュラム(案)</p> <p>②当日配付：2022年度医療事務分野教育課程編成委員会名簿</p> <p>③当日回覧資料：2022年度講義要項、2023年度学校案内</p>
議 長	村山学科長
議題等	<p>1. 事務局より今年度委員の確認 新任の本校委員の紹介が行われた。</p> <p>2. 校長挨拶 新型コロナウイルスの感染症については、第7波との報道もあり、引き続き予断を許さない状況が続いている。一方でウィズコロナからアフターコロナに向けて、様々な場面で日常生活を取り戻そうとする社会的な動きも出てきた。 本校は、必要に応じて適宜オンライン授業を組み込む教育体制を整える一方で、感染防止対策だけでなく、熱中症予防にも配慮しつつ、学生を登校させての対面授業を実施している。 今年度の病院、施設等での学外実習については、昨年より状況は好転しつつあり、学生数の多い医療事務分野の学科においても、実習希望者全員分の実習先を確保できる見通しが立っている。</p>

委員の皆様には、医療事務分野の仕事の現在と将来に関わる専門家の視点からの貴重なご意見、また、本校の医療事務分野各学科の教育やカリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。

3. 前回委員会議事録の確認（説明者：事務局土屋）

前回議事録（資料1）について、修正意見はなく、確認された。

4. 2021年度第2回委員会以降の主な活動報告等について

(1) 2021年度年度末点検報告（資料2-1 確認のみ）

(2) 2021年度第2回委員会以降の主な経過（説明者：榊原事務局長）

資料2-2～2-3に基づき説明が行われ、確認、了承された。

5. 2022年度の重点目標と達成するための計画・方法について（資料3 確認のみ）

6. 2022年度教員研修計画・実績（説明者：榊原事務局長）

資料4に基づき説明が行われ、確認、了承された。

7. 2022年度の教育活動と学科運営、計画等について（説明者：村山学科長、川畑学科長）

資料5に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

8. 2023年度生カリキュラム編成等について（説明者：村山学科長、川畑学科長）

資料6に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

9. 次回日程、その他

事務局より、次回の開催は2月を予定しているが、日程は改めてメールで調整させていただきたいとの説明があり、了承された。

以上

2022 年度第 1 回医療事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

4. 2021 年度第 2 回委員会以降の主な活動報告等について

- (1) 2021 年度年度末点検報告（資料 1 参照）
- (2) 2021 年度年度第 2 回委員会以降の主な経過（資料 2-2、2-3 参照）

5. 2022 年度の重点目標と達成するための計画・方法について（資料 3 参照）

6. 2022 年度教員研修計画・実績（資料 4 参照）

（以上確認のみ、または説明内容省略）

7. 2022 年度の教育活動と学科運営、計画等について

医療事務分野各学科の学科運営計画と各学年のカリキュラム、教育のポイント

◎医療秘書科

○村山学科長より資料 5-1 に基づき以下の説明が行われた。

*カリキュラム

・前回の委員会で頂戴した、教材に診療情報提供書があると学生の指導や仕事に就いてからの幅が広がるとの意見を基に、2 年次の共通科目として「医師事務作業補助概論」を設置した。

・2 年次の「カルテ読解Ⅰ、Ⅱ」を「医師事務作業補助概論」と連携させ、実技を通して実務に即した知識を身につけることを目指す。

・英語による受付対応について、既存の「病院受付事務」の中で数コマ入れる形で動き出している。

*教育活動

・全員を対象とした行事は難しいが、必要な活動は行っている。コロナの影響で2年間実施できなかった、国際モダンホスピタルショウの見学を実施する予定である。

◎医療事務 I T 科・診療情報管理科・診療情報管理専攻科

○川畑学科長より資料 5-2～5-4 に基づき以下の説明が行われた。

*医療事務 I T 科

・他の学科に比べてパソコンの授業に多くの時間を割き、マイクロソフトの office の資格取得を目指している。

・2 年生は、医療情報技師の基礎知識検定試験の受験を目指し、前期 8 コマ、後期 8 コマで授業を組み立てている。

*診療情報管理科

・3 年制で管理士の資格取得を目的としたラインナップを組んでいる。

・I T 科からの進路変更を考慮し、1 年次は I T 科とほぼ同じカリキュラムとなっている。

・2 年生の情報技師の取得率は前年と同程度は見込めると考えている。

*診療情報管理専攻科

・今年度が最後の卒業生となる。

・オンライン授業を週 2 回取り入れ、全員が管理士資格を取れるようサポートしている。

・これまで希望者のみだった医療情報技師能力検定試験を全員受験とし、授業の中に組み込んでいる。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>*医療事務 IT 科・診療情報管理科</p> <p><input type="checkbox"/>医療事務 I T 科と診療情報管理科の選択は、2年制か3年制かの違いが大きいのか。</p> <p>ステップの低いほうに見られてしまうと I T 科が生きてこない。今後は医療の中でもオンライン化が進むと思うので、オンラインツールや簡単なデータベースを使いこなせる人材は目立つと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>院内の業務を全て iphone を使って効率化しているところもある。開発は無理でも、システムやソフトを使うことにたけた人材のニーズは高くなると思う。</p> <p><input type="checkbox"/>就職できなかった原因を分析し、対処方法を検討しているか。</p> <p>*医療秘書科・医療事務 IT 科・診療情報管理科</p> <p><input type="checkbox"/>教員の研修計画は申請に基づくのか、学校が必要性を検討して作っているのか。また、教員ごとの管理ファイルは作られているか。</p> <p><input type="checkbox"/>学校として共通フォーマットを作り、年度目標や研修履歴などを管理するよう検討してはどうか。</p> <p>*診療情報管理科</p> <p><input type="checkbox"/>Q I 活動等で、診療情報管理室もカルテからいろいろな情報を得ることが必要になってきた。医療のことを知ろうとする S E、I T に関する知識、技術を求める管理士が合体していくと病院の強みになると思った。</p> <p><input type="checkbox"/>4月から始まったマイナンバーで受診できる制度は、情報共有による様々なメリットがあり、病院側の D X も進んできた。</p>	<p><input type="checkbox"/>2年か3年かで決める学生もいるが、最近では学費も影響している気がする。</p> <p>管理士の仕事に興味がない学生は、3年間は厳しい。パソコンが好きで、I T 系に特化した仕事をしたいという人は I T 科を選ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/>卒業後もサポートしている</p> <p><input type="checkbox"/>基本的には申請に基づいて学科長が承認するが、東専各の行っている教授法を体系的に学ぶ講座は必ず参加する。管理は学科長がしている。</p> <p><input type="checkbox"/>導入されている病院で実習をする機会があれば、見学させていただきたいと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>大容量のデータを学校が用意することを</p>

<p>□データから診療内容のモニタリングができる人材が欲しい。Excel では難しいので、そういう授業をやっていただけるとありがたい。</p> <p>単純作業を自動化するソフトやロボットがあるので、それに対応した教育があるとよい。簡単なプログラミングができる能力プラス診療情報管理士の資格を持っている人材が欲しい。</p> <p>□英会話受付の話があったが、当院の医療通訳を講師として派遣し、逆に学生の実習先として当院で英語による受付をするような連携が構築できるとよいと思った。</p> <p>パソコンやプログラミングが好きな人が1～2年医事課で経験し、その後診療情報管理をやりながらプログラミングに進むという形も必要ではないか。</p> <p>□RPAやExcelのレコーディングもマクロ機能を使いこなせると病院の中で役立つ人材になる。そういうカリキュラムを入れると興味を持つと思う。</p> <p>□管理士の認定試験が変わったので、学校としてコーディングの部分を簡素化する動きがあると思うが、従来どおりのやり方がよいと思う。</p>	<p>含めて、今後の課題だと思っている。</p> <p>□プログラミングの授業は、簡単なものはやっているが、SE寄りのものではない。</p> <p>□それを面白いと思える学生は新しい職場にも適応できると思う。Excelのマクロなどを使いこなせる学生を育てたい。</p> <p>□基礎から従来どおりやっている。</p>
--	--

8. 2023年度生カリキュラム編成等について（資料6）

◎医療秘書科

○村山学科長より、資料6-1に基づき以下の説明が行われた。

- ・「社会人基礎C」は、複数の講師にオムニバス形式で講義をお願いする形を考えている。
- ・「医療業界研究ゼミ」が2年生で追加されている。外部の学会発表を想定して設けた。
- ・医療秘書科のコースの中の一つとして美容医療コースを組み込んだ。共立美容外科と産学連携包括協定を結び、準備を進めている。

◎医療事務IT科・診療情報管理科

○川畑学科長より、資料6-2に基づき以下の説明が行われた。

*医療事務IT科

- ・医療秘書科と同じく、「病院事務実習指導」を1年のうちから行うことにした。
- ・「臨床医学Ⅰ」、「医学用語Ⅱ」は、一部診療情報管理士の指定科目と被っているため、IT科から転

科する学生に配慮し、調整した。

- ・「ITパスポート」の資格取得を目指し、理論と演習を1年生の後期と2年生の前期に設定した。
- ・「電子カルテ応用演習」は、音声から電子カルテに入力していく授業で、タイピングの能力と併せてスペシャリストとなるべく設定した。

***診療情報管理科**

- ・日本病院会の指定科目について、時間や受講時期の変更をした。
- ・「病院事務実習指導」は、IT科と同じく1年生の後期から指導するため、I、IIに変更している。
- ・診療情報管理士試験に向けて、問題に慣れる時間を若干増やしている。
- ・情報技師については、2年生の前期、後期と3年生の前期に受講する形で変更している。学生の勉強の様子や合格率などを確認しながら見極めていきたい。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>*医療秘書科</p> <p><input type="checkbox"/>美容医療の受付やカウンセリングのニーズはあるのか。</p> <p><input type="checkbox"/>病院からすると、定着率があまりよくない感じがする。「社会人基礎」の部分が大事だと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>確かに医療の周りに美容形成があり、最近の若い子には受けはいいと思うが、その先に就職の場がどの程度あるのかは心配。</p>	<p><input type="checkbox"/>昨今、サブスクを導入したクリニックが拡大し、非常にニーズが高まっていると聞いている。</p> <p><input type="checkbox"/>そこはセットで考えたい。</p> <p><input type="checkbox"/>昨今の韓流ブームなどで整形も含めて認知度が広がり、学生の親世代も偏見なく見ている。産学連携により、ドクターに指導をいただいたり、カウンセリングからクロージングまで、ある程度厳しさも知ってもらうことを想定している。</p>
<p>*医療秘書科・医療事務IT科</p> <p><input type="checkbox"/>医療秘書科の2年次にあるコース科目「DPC演習」とIT科の「DPC基礎演習」は内容が違うのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>医療秘書科は、医事コンピュータソフトに付いているDPCを利用し、出来高のレセプトとDPCのレセプトを比べる形で授業が進行している。触れる程度の内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>IT科では、包括払いも含めて、カルテからDPCのレセプトを手書きで作成できるところまでやっている。診療情報管理科の3年生の「DPC実践」という授業で、様式イメージやEFファイルの辺りを学ぶ。</p>

*医療事務 IT 科

□ IT 科には、実際のデータを扱う技術を学ぶ機会がない。2年間という制約があるなら、優先的に IT 技術のカリキュラムを入れて、そうでないものを外したプログラムにしないと意味がない。IT 科が狙いとするものがカリキュラムに表れていないので考えたほうがよい。

□ IT パスポートを入れたのはとてもよい。

□ レセプトチェックのソフトに関する授業はあるか。

□ 以前の医療マネジメント科の流れから「病院会計」という形で簿記の授業を入れているが、日商の資格取得はハードである。授業のウエイトや、今後どのような方向でやっていけばよいかについてご意見を伺いたい。

□ IT パスポートに関しては、授業を聞くだけではなく、自分でたくさんやる必要がある。前・後期 15 コマずつでは足りない感じがしているが、ウエイトの置き方を教えてもらいたい。

*診療情報管理科

□ 3 年制になったことで、3 年間モチベーションを維持することが難しい。

□ 初心を思い出させたり、精神的な部分を鍛えるイベントがあってもよい。卒業生との触れ合いを多くしてはどうか。

□ 改めて 1 日だけ病院見学をしたり、実際に診療

□ 貴重なご意見を反映させるように考えていきたい。

□ 授業では、何がいけなくて、何が正しいのかを分かってもらうことが先になるので、チェックソフトに関することは行ってない。無料のソフトもあるので、時間があればやりたいとは思っている。

□ 医事課のスタッフは簿記と接する機会は少ない感じがする。医事課長や主任になると本部の経理とやり取りをするので、先の話かと思う。

□ 簿記は経理分野で管理すべきもので、医事課は、未収金残高などを出す医事システムを使う教育のほうがよいと思う。

□ 基本的な出納処理が分かればよい。それより IT を使うマネジメントに特化したほうがよいのではないか。

□ IT パスポートの資格取得は、学校側では限度があって、あとは自分で勉強するしかない。

□ 対面の行事も復活してきたので、もう一踏ん張りというところかと思う。

□ ワクチン接種は強要はできないが、病院

情報管理士として働いている人を見るとギアが入るかもしれない。

*医療秘書科・医療事務 IT 科・診療情報管理科

□コロナ禍が続く中で、本年度一部の学生で抗体検査、ワクチン接種の拒否があり、実習配置に苦慮した。入学時からしっかり啓蒙していくことが課題だと考えているが、実習受入れや採用、就労についての医療機関側のお考えを伺って、今後の実習方針の検討や指導に生かしていきたい。

□採用時にワクチン接種の有無は重要視されるか。

側はクラスター化を避けたいので、ハードルを上げざるを得ない。

□面接時に聞いてはいる。

□看護は気にしているが、事務はやっていない。

□ワクチンは必須ではなく、2週間以内の行動履歴に問題がなければ実習は受けられる。採用時にも聞いていないと思う。

□ワクチンより、抗体検査をしてもらったほうがよい気がする。

□2週間分の健康チェックをさせて、1人ずつ持たせている。病院によっては、そこに教員の印を求めるところもある。

以上